

文化史学会だより

〈文化史学会第五回大会報告〉

平成十二年六月十日(土)午後一時三十分より、昭和女子大学研究館七階視聴覚教室において、当学会の第五回大会が開催された。プログラムは次の通りであった。

研究発表 大沢 眞澄(昭和女子大学教授)

「蘭英漢『モリソン辞書』について」

佐々木 由香(昭和女子大学大学院生)

「縄文時代における水場の利用―民族考古学的な視点から―」

千葉 功(昭和女子大学講師)

「仲裁裁判条約と日本―第一次世界大戦前を中心―」

内田 啓一(昭和女子大学講師)

「延文二年銘のある木造聖観音菩薩坐像と像内納入品」

懇親会 研究館五階ロビーにて

〈文化史学会第六回大会報告〉

平成十二年二月一六日(土)午後一時三十分より、昭和女子大学研究館七階視聴覚教室において、当学会の第六回大会が開催され

た。

プログラムは次の通りであった。

特別講演 後藤 淑(昭和女子大学特任教授)

「観世宗家所蔵伝弥勒作『翁面』資料から考えたこと、考えること」

調査報告 館 まりこ(昭和女子大学大学院生)

「中屋敷遺跡第2次調査報告」

阿部 百里子(昭和女子大学大学院生)

「ベトナム・ホイアン地域の調査―伝広南鎮営跡の発掘―」

研究発表 菊池 誠一(昭和女子大学講師)

「ベトナム北部と中部の肥前磁器―受容のあり方と輸出年代をめぐって―」

渡辺 伸夫(昭和女子大学教授)

「近世対馬における法者ほさの活動―対馬藩政史料を中心として―」

懇親会 研究館五階ロビーにて

〈文化史学会見学会報告〉

文化史学会では平成一二年度は合計四回の見学会を開催した。

○第一回見学会

五月二〇日(土)

早稲田大学大隈小講堂にて高山茂氏講演「番楽上演―鳥海山麓に伝わる修験系神楽―」を聴講した後、早稲田大学演劇博物館「青年団と平田オリザの演劇」展を見学した。

(引率 大谷津早苗)

○第二回見学会

五月二二日(日)

『緑の歴史散歩』と称し、護国寺、鳩山会館、講談社野間記念館、芭蕉庵、椿山荘、新江戸川公園(旧細川家庭園)を見学した。

(引率 山本博也)

○第三回見学会

六月二四日(土)

横浜そごう美術館「日光の至宝」展、神奈川県立歴史博物館「東洋のやきもの」展を見学した。

(引率 内田啓一)

○第四回見学会

一一月一八日(土)

大倉集古館「拈華微笑 仏教美術の魅力」展、渋谷区立松濤美術館「ZENGA 帰ってきた禅画」展を見学した。

(引率 内田啓一)

○文化史学会次回大会予告

日 時 平成13年12月8日(土)

13時30分～17時

会 場 昭和女子大学研究館

7階視聴覚教室

特別講演 村井不二子

研究発表 山本博也、藤波朋子

発表希望者はお申し出下さい

○入会案内

どなたでも入会できます。会費(137頁の会則参照)を納入して下さい。

① 日本文化史学科教授室(研究館5階)に持参していただくか、

② 郵便振替をご利用下さい

口座番号 〇〇一二〇一六一二四七四三

加入者名 昭和女子大学文化史学会